




シラバス参照

タイトル「**2014年度シラバス**」、フォルダ「**大学院-経済学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。


 戻る


 参照URL

科目名	マーケティング・リサーチ特殊研究 I				
担当教員	中村 陽人				
対象学年	1年,2年	クラス			
講義室					
開講学期	前期				
曜日・時限	時間外	単位区分	自由,選必		
授業形態	通常講義	単位数	2		
準備事項					
備考					
ナンバリング					
授業概要とねらい	<p>組織が効果的なマーケティング活動を行うためには、その環境を理解し、問題や機会を識別し、マーケティング行為の代替案を開発し、評価することが重要です。そのために必要となる、情報の特定、収集、そして分析・解釈という一連のプロセスこそがマーケティング・リサーチです。</p> <p>本講では、実データをExcelの表計算で計算していきます。つまり統計ソフトに頼った実のない“クリック分析”ではなく、分析の基本的な原理から学ぶことで、実用に耐えうるレベルの知識と技術を習得することをねらいとしています。</p>				
望ましい水準	<ul style="list-style-type: none"> データを適切に分析することができる。 分析結果を適切に解釈することができる。 				
授業計画	回	内容			
	1	オリエンテーション			
	2	1変量の統計量① (度数分布表、平均、分散、標準偏差)			
	3	1変量の統計量② (度数分布表、平均、分散、標準偏差)			
	4	2変量の統計量① (クロス集計表、散布図、共分散、相関係数)			
	5	2変量の統計量② (クロス集計表、散布図、共分散、相関係数)			
	6	推定①			
	7	推定②			
	8	検定①			
	9	検定②			
	10	回帰分析①			
	11	回帰分析②			
	12	回帰分析③			
	13	回帰分析④			
	14	まとめ			
	15				
	16				
教材・教科書	適宜、紹介します。				
参考図書	適宜、紹介します。				
参考URL					
授業以外の学習	授業時間内に解説と実習を行いますが、身に着けるためには学んだことを繰り返し自分の力で再現することが重要です。そこで、別のデータを用いて授業で学んだ分析のプロセスを確認しながら再現する課題を与えます。この課題は授業時間外に取り組むことになります。				
成績評価の方法	授業と課題への取り組みで評価します。				

成績評価の基準	すべての課題が提出期限までに提出されればグレードB以上になります。逆に複数の課題が未提出の場合グレードFとなります。あとは、どれだけきちんと課題に取り組んだかで評価が決まります。
オフィスアワー	特に定めていませんので、事前にメールで連絡してください。
留意点・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業はExcelを用いて行います。ノートパソコンを持参してください（ノートパソコンが用意できない場合はこちらで貸し出します）。 統計学に関する事前の知識は前提としませんが、ある程度Excelの操作をできることが望ましいです。 『マーケティング・リサーチ特殊研究Ⅱ』と関連が深いので、併せて受講するようにしてください。
その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	ビジネス探究モデルのディプロマポリシー／経済学・経営学分野の基礎的知識と分析ツール（ビジネス探究モデルⅠ）
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	ビジネス探究モデルのディプロマポリシー／経済社会の問題発見・解決能力（ビジネス探究モデルⅡ）
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

 戻る